

ケイティケイ・駒ヶ根工場

生産現場の
Diversity
ダイバーシティー



リサイクルトナーの再生では障がいのある人も戦力として作業を担う（駒ヶ根工場）

障がい者に働きやすい環境

ケイティケイは、リサイクルトナーなどオフィス用品の製造販売やITソリューションの提供を主力とする。多様化する働き方に最適なオフィス環境の提供という事業方針のもと、自社でも多様性を生かした職場づくりに取り組む。トナーカートリッジの再生を手がける駒ヶ根工場（長野県駒ヶ根市）では近隣の福祉事業所と連携し、障がい者就労を支援。現在は障がい者11人が作業に従事し、製造の一端を担っている。

駒ヶ根工場では2009年 汚れを1個ずつ磨き、グリスに障がい者就労支援を開始。を塗るといった細かい作業を長野県の制度「障がい者福祉 担当。障がいのある人の仕事施設の工賃アップ応援宣言」 ぶりについで、高井俊彦生産の第1号認定を受けた。青山 本部副本部長駒ヶ根工場長は栗生社長は「作業量が増え人 「集中力がすごい。楽しく材確保を考えていた時に制度 も、真剣に取り組んでくれてを知り、チャレンジしよう」と 欠かせない戦力になってい返る。

現在は駒ヶ根市内の福祉施設 障がいのある人が着実に作設「伊南桜木園」、社会福祉 業できるように、さまざまな法人「親愛の里シンフォニー」を納める箱に仕切りを付けた駒ヶ根工場に通い、業務に従事している。 のも、その一つ。仕切りに沿って並べるだけで、部品の個数を手間を省いていーカートリッジの部品清掃 る。こうした工夫は従業員がだ。分解された部品に付いた 福祉施設との職員と相談しながら

施設職員と相談、試行錯誤



多くの女性従業員が作業を担い、多能工化を進めている

ら試行錯誤を繰り返し、考えの現場では多能工化を進めるための教育訓練を施し、属人障がいのある人に向けて作業環境を整えることが結果として、皆が働きやすい工場へと変化を促している。「工場と、誰もが生き生きと働ける全体で改善活動に自然に取り組むようになった」（高井工場長）と従業員の意識変化が見られるという。

駒ヶ根工場は女性も多い。男性、女性とも同じ業務をこなしており、製造ラインなど

ポイント
駒ヶ根工場では障がいの有無、男女の別なく、従業員が認め合う関係が築いた。障がい者雇用の取り組みを評価し、近隣市町村の福祉施設から作業委託の要望を寄せられるなど、地域の持続的成長に貢献する。

（名古屋・鈴木俊彦）